

平成30年度 地域学校協働活動事例

平成30年度「地域学校協働活動」推進に係る文部科学大臣表彰

市町村名	大館市
活動名	城西小学校地域委員会
関係する学校	大館市立城西小学校
こんな活動です！	～豊かな未来に向けて～ コミュニティ・スクールの機能を生かした地域学校協働活動の推進



通学路のグリーンベルト塗装



学校安全ボランティア「オレンジ隊」見守り活動



概要・経緯 平成19年度に学校運営協議会が設置され、同時に地域連携の実行組織として「地域委員会」が設立された。学校運営協議会が、教育活動の方向付けと評価を行い、「地域委員会」が地域学校協働活動を実践している。「地域委員会」は、地域住民やPTA会員等40名で組織され、月1回の「地域委員会」定例会において、学校と地域のよりよい協働の在り方について協議を重ねながら、地域総ぐるみで子どもを育てる活動を継続している。

活動の特徴・工夫

【特徴的な取組】

- ①教育環境整備「グリーンECOプロジェクト」：校地の緑化、通学路のグリーンベルト塗装・地域道路の美化、ゴミ減量化、リサイクル運動
- ②学校安全の取組：登下校の見守りと週1回の定例協議、地域委員会・PTA・学校運営委員会の企画による防災キャンプの実施
- ③多彩な授業支援：生活科・家庭科・総合的な学習の時間・正課クラブ等への支援、高校生によるものづくりの「交流授業」の開催
- ④「ふるさとキャリア教育」の推進：「秋田杉」「地域の仕事」「米作り」等、学年毎の課題設定で、地域と連携した主体的・協働的な学びを実践
- ⑤「城西ふれあいフェスティバル」：児童、学校関係者、地域住民が相互に交流を深める総合イベント
- ⑥家庭教育充実に係る機会の提供：子どもたちの健全なインターネット利用を家庭教育の課題ととらえ、ワークショップを実施
- ⑦放課後や長期休業中の学習支援活動：教員OB、地域委員、地元高校生等による放課後や夏季・冬季休業中の自学支援
- ⑧読み聞かせ活動：委員と住民の有志により、月1回のペースで、昼の読書タイムに実施

【実施に当たっての工夫】

- ・活動理念を「できるときに、できることを」とし、特別なことを求めず、学校と地域が互いのよさを生かし、活動の継続を意識している。
- ・地域委員会が機能し、多様な主体が幅広く連携する活動をコーディネートしながら、学校・地域の互いのニーズを取り入れた取組の実践に努めている。
- ・各活動の際に、地域についての情報交換を行い、その結果を、即時に学校や関係組織に伝えて、改善を図ることに努めている。
- ・活動資金を捻出するため、買い物をした際に発行される地域通貨「ワッパル」による募金を地域に依頼している。
- ・地域に縁のあるオリンピック選手を応援しようと、東京オリンピック・メダルプロジェクトに参加し、エコ活動を地域一体で行っている。
- ・関係者の情報交換と地域への周知を目的に、学校のホームページとのリンクによるホームページ、フェイスブックを開設している。

効果 ・ 成果	<ul style="list-style-type: none">・地域住民が学校とともに教育活動や地域課題解決に参画することで、地域総ぐるみで子どもを育てる気運が醸成されている。また、これにより学校理解が促進され、地域と学校が双方向に支え合う体制が確立されている。・児童が多様な地域人材と関わり、多様な活動を体験してきたことで、学習への興味・関心・意欲が高まったとともに、地域の大人の姿から生き様を学ぶことで、将来に対する視野を広げることにつながった。・地域通貨を活用した募金活動により、地域全体で学校を支え、子どもたちを育てていくという意識が地域住民の間で高まった。
---------------	--